



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔が輝く桜町小」

児童数 337名 令和5年9月1日(金)



二学期のスタートです！

校長 小川 哲

夏休み中、台風等で被害に遭われた方、地域の方々にお見舞い申し上げます。桜町小学校の子供たちに大きな事故等はなかったのですが、報道等を見ると自然災害、熱中症、水の事故等、少なくなかったと思います。情報が入ってくる度に胸が痛くなりました。まだ厳しい暑さが続きますので、状況を適切に把握しながら、教育活動を進めてまいります。

夏休み中に大阪市立大空小学校の初代校長先生を9年間務められた木村泰子先生のお話を拝聴する機会がありました。大空小は「すべての子供の学習権を保障する」という理念のもと、すべての子供がいつも一緒に学び合っている学校として、2015年に映画「みんなの学校」で公開された学校です。お話を聴く中で「問い直し続けること」が大切だとありました。「『これでいい』と思ったときに学校は崩れる」と。私は自分自身に問い直してみました。子供たちは一人一人違います。それを私たち(大人、教師)の枠にはめようとし過ぎてはいないか。子供たちはそれぞれがよりよく伸びようと一生懸命です。その中ではトラブルもあれば、上手いかないことがあるかもしれません。しかし、それはその後に生かされれば経験と呼べるのではないのでしょうか。子供は変わります。なかなか変わらないのは私たち大人です。だとすると、私たち大人がちょっと変わるだけで子供たちはもっと力を付けていけるのではないのでしょうか。なので、もう少し幅と深さをもって子供たちを観ていこうと思います。そして、とことん子供たちの味方になろう、とことん子供たちを信じようと思っています。

とはいえ、社会で生きていく力も付けていく必要がありますから、子供たちには困ったときにどうすれば良いかのスキルを身に付けていって欲しいと思います。私たち教師も一緒に考えていきたいと思っています。これは保護者の方にもぜひお願いいたします。一緒に考えていきましょう。

また、子供たちが伸び伸びと自己を表現できるようにするには、個と集団の両方の成長、育成が必要だと感じています。学級の中で育っていく部分もあるし、本校の特色である兄弟学級や異学年グループでの活動でさらに育っていく部分もあると思います。二学期は行事もたくさんあるので、計画的に進めていきたいと思っています。

「みんなの学校」の映像の中での、あるお母さんの言葉で「前の学校ではなかなかみんなと活動できなかつた我が子の鉛筆はいつも新品のままでした。それが大空小に来てからは・・・鉛筆がすり減っているだけで嬉しいんです。」という言葉が私の胸に刺さりました。子供たちの成長やがんばりを保護者、地域の皆様と共に喜べる学校でありたいと考えています。二学期もよろしくお願いいたします。

